

にこにこ通信 NO. 18

2015 年5月発行

「にこにこキッズルーム」は、東京都内在住であり、小学1年生から高校3年生の発達に障がいのある児童(手帳がなくても発達に関し医療機関を受診、又は療育を必要としている児童)の放課後を豊かにし、発達を促すと共に、地域の方に開かれた活動をすることを目的としています。

発行元：NPO 法人にこにこの会

にこにこキッズルーム

問合せ：調布市下石原 1 - 2 - 4 ヤシマビル 2F

TEL/FAX 042-499-5660



Thank you for everything!!

私たちを支えてくれている全ての皆さまに感謝の気持ちを忘れずに、今年度も様々な挑戦を続けていきます！
どうぞよろしくお願いします♪

にこにこキッズルーム



写真は5月の季節行事、母の日調理の活動でつくったハート形のチョコレートケーキです♪マグカップと牛乳パックを使って、かわいいハートができました！チョコペンでのデコレーションも楽しくできたね(#^#)

目次

- P1 ご挨拶
- P2～3 お知らせ ①中・高生活動の開始 ②にこにこキャッチフレーズ決定 ③HPリニューアルのお知らせ
- P4～8 特集 にこにこを支える“想い”～退職非常勤さんよりメッセージ～
- P8～9 非常勤職員紹介
- P10 活動協力者様等へのお礼、賛助会員募集

2P増量！特大号!!

《ご挨拶》

NPO法人にこにこの会は、地域デイサービスでの任意団体から法人化して、今年で4年目を迎えました。また、放課後等デイサービス事業も同じく4年目を迎えます。この間、沢山の皆さまのご理解・ご協力をいただき無事に運営できましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、今年度のにこにこも活動の質を高めることに主眼をおき、様々なことにチャレンジしながら子どもたちと職員が共に成長し合いたいと思っています。今回の通信でご紹介いたします内容をはじめとした様々な活動を通して、子どもの生きる土台となる力を育て、子どもたちが将来、自らの願いに基づいて、自分らしい生活をつくりだしていける基盤となる場としての施設づくりに努力していきたいと思っています。

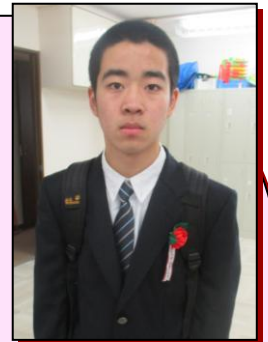
施設長 壬生貴子

重要

にこにこから大切な3つのお知らせです!

その1

中高生プログラムの開始



新学期が始まり、早1ヶ月が経ちました。にこにこからは、この春で小学校を卒業し中学生になったお友だちが4名、そして中学校を卒業しにこにこ初の高校生になったお友だちが1名おります。3年前の春は中学生が1名のみ、他は全員小学生であったにこにこキッズルーム。それが今や中高生メンバーは12名に!子どもの成長の早さには目を見張るばかりです。そこで今までは人数の割合から小学生主体の活動内容になっておりましたが、今後は学年に応じた活動の提供を目指し、そのための取り組みとして今年度より中学生以上を対象とした新たな2つの取り組みを開始致します。

1つ目は、毎月1回金曜日に予定している夕食づくりプログラム、**にこにこ晩ご飯**（通称にこ晩）です。普段の活動時間やメンバーでは難しい主食の調理活動を行い、その中で将来に結び付くような生活スキルの獲得や、高学年だけで過ごす時間への満足感などを感じてもらえたらと思います。

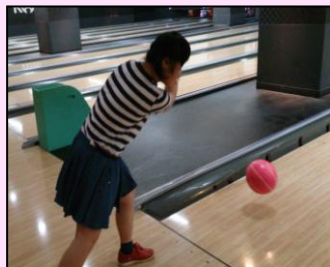
初回のにこ晩は牛丼づくり!にこ晩では全ての工程において、自分たちで選ぶということを大切にすることで、自分たちで作った!という気持ちや自信を強く持てることを狙いとしています。買い物の際は味噌汁の具材は何にするか、サラダは何サラダにするかなど、みんなでスーパーを周りながら決めました。牛丼班、サラダ班、味噌汁班とやりたい班に分かれ、できる作業ではなく、やりたい作業を選びます。普段は小学生と一緒に雰囲気ですべての作業をこなす子がとても積極的に意見を言ってくれたり、同年代の仲間と共にいきいきと作業をしたりする姿は、にこ晩をやって良かったと思わせてくれました。また、調理の自立度や待ち時間の過ごし方など、高学年らしい本当に立派な姿が見られ、改めて子どもの成長を強く強く感じました。



2つ目は、毎月1回土曜日に予定している**ホビークラブ**です。各々自ら選択した関心の強い活動領域の中で、子どもたち主体の活動を展開することで、充実感や自信の獲得、高学年らしい同年代の仲間づくり、また社会に出た後の余暇の過ごし方に役立てられるような取り組みを目指します。今年度は美味しんぼチーム、スポーツチーム、レジャーチームと3つのチームから希望に沿ったチームに所属し、自分たちで活動計画を立てながら、3~5人の少人数活動を予定しています♪

初回のホビークラブはレジャーチームはカラオケに、スポーツチームはボーリングに、美味しんぼチームは近隣散歩しながらの食べ歩きをそれぞれ行い、また次回以降こんな活動したいという話をしながら終えました。

にこ晩、ホビークラブ共に歩み始めたばかりの企画です。これから子どもたちと一緒に試行錯誤しながらより良い活動にしていきます!活動の様子はまたブログにもアップする予定ですのでぜひご覧ください♪(*^▽^*)



第1回ホビークラブ活動写真

レジャーチーム（左）

スポーツチーム（中央）

美味しんぼチーム（右）

その2 にこにこキッズルーム、キャッチフレーズの決定！

「ぼくでなきゃ きみでなきゃ ここでなきゃ」

にこにこでは昨年度より非常勤職員含めたスタッフで、私たちににこにこキッズルームはどんな場所であるか、またどんな場所にしていきたいかという話し合いを設け、にこにこの今と未来を表し、働くみんなの想いを込めた上記のキャッチフレーズが完成しました。

「ぼくでなきゃ」

にこにこキッズルームは、1人1人がありのままの自分として、安心して、主体的に、かけがえのない主役として過ごせる場所です。ぼくだから、わたしだから輝けるその瞬間を、その姿を大切にします。

「きみでなきゃ」

にこにこキッズルームは、そんな1人1人の仲間の良さを認め合い、他でもないきみ（もちろんスタッフも含みます！）がいるから楽しい♪という人間関係を大切に育む場所です。

「ここでなきゃ」

にこにこキッズルームは、ここだから出会える仲間を、ここだからできることを、ここだから出せる個性を、ここから発揮できる役割を、ここから感じられる安心感やぬくもりを、ここからできる成長を、大切にしたい場所です。どこでもいいのではないのです。“にこにこだから”、そんな場所を私たちは心から目指しています。



「ぼくでなきゃ、きみでなきゃ、ここでなきゃ」、にこにこに関わる全ての皆さんに伝えたい、私たちの想いです。どうぞ今後ともよろしくお願いします！(^.^)！

その3 ホームページ、リニューアルしました！

この春より、にこにこキッズルームのホームページが完全リニューアルいたしました！新しいホームページは専門の方に作っていただいたもので、内容、外観共に大きくグレードアップし、スマートフォンにも完全対応してのリニューアルです♪

新しいコンテンツとしてはスタッフ紹介ページや、にこにこの大切にしている想いを知っていただけるよう、キャッチフレーズ（上記）やクレド-行動理念-なども紹介しております。また、このにこにこ通信も、バックナンバー含め、サイトからの閲覧が可能になりました！ほんと、作成者としては念願のカラー原稿を皆さまにお届けすることができるのです＼(^o^)/そしてもちろん今まで同様活動の様子や、今後はボランティアさんの募集等もブログにて挙げ、リアルタイムな情報を皆さまにお届けしていきます。

ただし！まだオープンしたばかりのサイト、にこにこキッズルームの検索だとまだまだ上位には出てきません。新サイトのアドレスは <http://2525kids.org/> です。ご面倒ではありますが URL 入力からのご来場、お待ちしております。どうか皆さまのアクセスで少しでも検索上位へ！まだ更新準備中の部分もありますが、ご覧いただいた際にはぜひ感想やご意見、スタッフまでいただけると嬉しいです♪

今号の特集!

にこにこを支える“想い”

～退職非常勤さんよりメッセージ～

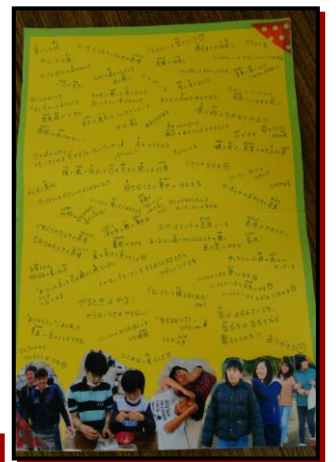
春は出会いと季節であると同時に別れの季節でもあります。にこにこではこの3月、退会の児童はおりましたが、その分たくさんの非常勤職員が退職されてしまいました。

にこにこでは実は今までは退職者がいても大々的に子どもたちに伝えること（お別れ会など）はありませんでした。しかし今回、退職者の中でも特に勤務年数が長かったり多く出勤してくれたりした4名のスタッフより提案がありました。しっかり別れを伝え、その中で私たちの気持ちを子どもたちに伝えたいと。そこで子どもたち全員にプレゼントとしてつくられたのが「ボクたちが〇〇を愛するわけ」というメッセージカードです。このカード、中には子どもたち1人1人に対する好きなところがたくさん書かれています。すべて手作りで、その全ては業務外の時間を使い、時には夜遅くまで残り、時には朝早く施設に来てつくられたものです。

ただただ子どもへの愛情からつくられたこのカードは、活動内の卒業・進級を祝う会の中で、制作者の人たちから直接、1人1人の子どもたちへ手渡されました。中には涙をこらえきれず、泣きながら子どもたちに想いを伝え、カードをプレゼントするスタッフの姿もありました。子どもたちにとってその姿は忘れないものになったでしょう。

前号の通信（といっても約半年も前ですが…）の記事の中で『私たちの仕事において「人」は何よりも大切な財産』という言葉を使いました。メインで上記の企画を立ててくれたスタッフはもちろん、辞めてしまう誰もが、最後まで子どもたちを想い、大切なものを残してくれた、まさにかけがえのない財産のようなスタッフたちでした。しかし、彼らが退職していても、その想いや姿はにこにこキッズルームの風土として確に残っています。そうした風土こそが、施設の雰囲気であり、特性であり、にこにこキッズルームそのものです。

今回、そんなににこにこを造り上げていってくれた人たちの想いを少しでも伝えることができたらと思い、今回退職された方の中から代表して3名の方にメッセージ文を書いていただきました。当初半ページ程度の原稿で依頼していたにも関わらず、2ページを超える想いを届けてくれるほど熱い気持ちで溢れています（笑）にこにこでどんな想いで働き、子どもたちとの時間を一緒に過ごし何を感じたのか。にこにこを造り上げ、動かしている原動力である“私たちの想い”をどうぞご覧ください。



表紙（写真左上）を開けるとそこには溢れんばかりの想いがぎっしりと（写真上）。
1人1人に想いを込めて渡していきます（写真左）。

かめちゃんより

すっかり春らしい温かい季節になりました。そして別れの季節、出会いの季節となりました。私は、およそ二年間当施設で非常勤職員として関わらせていただき、この度辞することとなりました。

この当施設で過ごした二年間は、たくさん子どもたちと遊び、様々な活動をした楽しい思い出ばかりであつという間でした。はじめは戸惑うことばかりで、子どもたちは心を開いてくれるのかな？一緒に遊んでくれるのかな？と不安が多かったことを覚えています。しかし、行ってみれば初めて会うのにも関わらずとても人懐っこく一緒に遊んでくれたり、何回か行くうちに心を開いてくれたりし、私は徐々に施設に行くことが楽しみになっていました。子どもたちは一人ひとり個性的でそれぞれが素敵な世界を持ち、「そんなことを考えていたのか！」とはっと気付かされることが多々ありました。

にこにこの子どもたちは私に、「自分らしさ」と「笑顔の大切さ」を教えてくれました。私は四月から小学校の特別支援学級の介助員として働きます。子どもの心に寄り添えるそんな先生を目指して仕事と勉強の両立を頑張ります。これまでありがとうございました。

橋本卓(かめちゃん)

さゆちゃんより

こんにちは！尾上小百合と申します。さゆちゃんと呼ばれていました。にこにこキッズルームで約2年半働かせていただき、今年の3月末でにこにこを卒業しました。

まずは、にこにこにいる子どもたち、保護者の皆様に心から感謝をお伝えしたいです。皆様の大切な時間を一緒に過ごさせていただき、本当にありがとうございます。私は、今でも初めてにこにこの子どもたちに出会った日のことが忘れられません。ドアを開けると、そこには部屋一杯に広げられたプラレール。二人の男の子が手を止めて私の方を見てから、「だれだー！」と笑いながら近付いてきました。その二人の笑顔を見た瞬間に、思わず私も声を出して笑ってしまいました。2人のまっすぐな目や真っ赤なほっぺ、私の目の前に2人が並んでいる姿に、私の心は全部奪われてしまいました。(笑)

にこにこに入ったばかりのときは、ただただ、「子どもたちに会いたい！笑顔が見たい！」など、私自身が楽しみたいという気持ちだけで来ていたような気がします。私の楽しい気持ちを子どもたちへ伝えて、それが子どもたちの元気や安心感というプラスな感情に繋がればよいなと考えていました。

しかし、ある日、ふと1つのことに気付いたのです。活動終わりに、いつものようにどうしてにこにこの子どもたちはこんなに愛しいのかを考えていた時でした。(笑) 私がにこにこの子どもたちを好きなのは、ただ「笑顔が可愛い」や「元気なところ」だけではないな、と。自分の意志が叶わなくて怒る表情やお散歩に行けなくて悲しいことを表現する姿、公園から帰りたくなくて目を合わせないように顔を背けツンとするところ…。そのように子どもたちが見せてくれる「心が動く瞬間」がとても大切なことで愛しいものだと思いついたのです。放課後という限られた時間の中でも、子どもたちの「心」はめまぐるしく変わり、動いています。それはきっと元気や楽しいという感情だけではなく、もちろん明るく元気に楽しんでほしいけど、怒ったり、イライラしたり、沈む気持ちを抱くのも、ありのままの子どもたちの姿でした。子どもたちが明るいとは言えない感情を乗り越えるために頑張ったり、我慢したり、踏ん張ることもある。私にとって子どもたちのそんな姿も魅力的でした。みんなの心はいつもたくさん動いていました。

心が動くことは絶対に良いこと！…かどうかは分からないのですが、様々な人に出会い、心が動くことは素敵なことだと私は考えています。そのため、私はみんなの心が動く瞬間を見逃したくないと思っていました。それがプラスな気持ちでもネガティブな気持ちでも。そして、心が動く瞬間を見つけたときには、一緒に楽しんだり、乗り越えられるよう声をかけられたらなあと考え、活動していたような気がします。

そんな私は、子どもたちに何度も心を動かされました。ブランコが楽しくて声を出して笑ったり、「さゆちゃんはおばさんじゃないよ、27歳でしょ」と本気で言われ思いっきり動揺したり(さゆちゃんは22歳です)、時には想いを伝えたくて真剣に怒ることもありました。この文章を書いている今でも、子どもたちのことを考えると、愛しくて愛しくて涙が溢れてきます。こんなに様々な想いを感じることができて、私は本当に幸せ者です。

そして、このような私を受け入れてくださったにこにこの職員さんやスタッフさんにも感謝をお伝えしたいです。私が子どもたちとまっすぐ向き合えたのは、子どもたちに集中できる環境があったからだと考えています。「にこにこの子どもたちが一番かわいいんだからね！」と嬉しそうに話す職員さん(施設長)や、「もうだめだよ～」と子どもたちとのお別れが悲しくてミーティングのときから号泣するスタッフなど、本当に愛が溢れている場所だと思います。皆様に会えて、心がいつも温かかったです。

最後になりましたが、このようにまとまりのない文章を読んでいただき本当にありがとうございます。体験談なのか、手紙なのか、日記なのか分からない内容で申し訳ございません。私が一番お伝えしたかったことは皆様への

感謝の気持ちです。にこにこで出会った子どもたち、過ごした時間、共有した気持ちは、私にとって本当に大切です。宝以上のものです。

にこにこで過ごした大切な時間を忘れず生きていきます。

また、お会いできることを楽しみにしております！

本当にお世話になりました。

尾上小百合(さゆちゃん)



にしむより

にしむ(西村綾介)です。にこにこを卒業することになりました！今までどうもありがとうございました。

僕は、子どもには子どもらしく伸び伸びと遊んで欲しいと思い、活動してきました。どうせにこにこに来るなら、にこにこでしかできないことを、にこにこに集まる仲間と楽しんで欲しいと思っていました。

僕にできることは、子どもたちと全力で遊ぶことでした。学校ではできない、家庭でもできない、本気の遊びを子どもとしたいと思いました。遊びの中で、小さな挑戦を積み重ねて欲しいと考えました。

大きなしっかりした紙を買ってきて、巨大紙ヒコーキを作ったり、スーパーボール作りをしたり、雲を発生させる実験をしたり、マジックハンドや空気砲などの工作もしたりしました。子どもには、カッターやマッチなども使ってもらいました。レジャーシートに子どもたちを乗せて走ったり、子どもと一緒に丘から身一つで転げ落ちたり、相撲をしたり、ひたすら走り回ったり、戦いごっこもしたりしました。

「それいいね！やろう！」と、笑顔で遊ぶ子どもが集まるようになりました。気がつけば、学年や学校を超えて、遊ぶ仲間が増えていました。そして、「まずやってみる！」という積極性が見られるようになりました。また、友だちに順番を譲ったり、意見を求めたり、友だちを思う優しさが輝くようになりました。



仲間と過ごすようになり、イタズラも増えました。靴下を脱がせて逃げたり、調理活動でこっそりつまみ食いをしたり、顔を絵の具で塗ったり。一人でも悲しむイタズラはいけないと伝えてきましたが、みんなが笑顔になれるイタズラであれば、一緒にイタズラをしました。

いつしか、楽しむために頑張る子どもの姿に気がつきました。もっと楽しくしようと考えたり、友だちを誘いに行ったり、遊ぶルールを考えたり、子ども同士で会話することが増えました。うまく言葉で表現できない子が隣にいと、「きっと〇〇くんもこう思ってるよ」と、代弁してくれる子もいました。

さらには、仲間と一緒に頑張れることもたくさん増えました。「〇〇がやるなら、俺もやる」なんて言葉を聞いたときは、とても喜びました。遊ぶことで、子どもたちには、仲間と過ごす楽しさを実感してくれていたら嬉しいです。仲間と一緒に頑張れる力も大切にして欲しいと思いますし、仲間と力を合わせればできることがたくさんあることを忘れないで欲しいと思います。

さて、遊ぶことに全力になりながらも、悩むこともたくさんありました。にこにこで働きながら、障害って何だろうと考える日々がありました。自分は支援者なんだと意気込むことがありました。子どもたちに、こうなって欲しいと気持ちが強くなればなるほど、子どもたちに、自分の指示を通そうとしている自分自身に気がつき、反省したこともあります。積極的に子どもたちに働きかけ続けたこともあります。

そんなとき、サレジオ公園からの帰り道、わんぱくな小学6年生の男の子2人組に、「やっぱ楽しいって最高だよねえ」と言われました。この日は、僕も本当に楽しかったと感じていました。「そうだねえ」なんて言って、歌いながら帰りました。一緒に歩きながら、ふと、自分から無理に話しかけなくてもいい、黙々と作業をしてもいい、子どもの会話を聞いていて面白いと思えば会話に入ればいい、子どもの反応を意識しすぎずに自分も楽しむほうがいい、そんなことを考えました。肩の力が抜けた気もしました。

全力で遊ぶことの意味を改めて考えさせられました。そして、自分の心の中にある、子どもが好きという気持ちを大切に、背伸びせず、ありのままの自分で、ありのままの子どもを受け止め、子ども一人一人と向き合っていこうと思いました。

子どもと毛布にくるまってぼーっとしたり、些細なことで一緒に笑ったりして過ごす中で、子どもと同じ時間の流れにのっているような感覚を覚えました。これも僕にとって、大事な学びです。

僕のことを遊び友だちだと思っている子どももいそうですが、それでいいと考えています。僕自身が楽しんでいるときの方が、子どもも良い笑顔で過ごしていました。遊びに夢中になってくれました。心通う瞬間がありました。

「障害」という言葉から始まった様々な葛藤。今は、人として譲ってはいけないことには、毅然と立ち向かって生きていこう。そして、自分自身にも正直に、自分らしく働いていこうと考えることができます。子どもに関わるシゴトは、咲くか咲かないか分からない種を蒔き続けることだと考えています。子どもの成長を信じ、これからもたくさんの種を蒔いていきたいと思います。

僕は、子どもたちと過ごす時間が大好きでした。公園から肩を組みながら帰ったり、好きな子ができた話を聞いたり、子どもを肩に乗せて歩いたり、とても心地のよい場でした。笑顔で「にしむ」と呼んでくれて嬉しかったです。言葉にうまくできないのですが、話しかけてくれて、グフフ、ガハハと笑うあの雰囲気が好きでした。本当はよくないのですが、道いっぱい広がってたわいのないことを話しながら歩くことも大好きでした。

ボクたちがキミを愛するわけのカード渡して、子どもと別れるとき、涙が溢れて止まりませんでした。こんなにも子どもたちのことが大好きだったのかと思いました。僕は幸せ者です。お手紙をくれた子もいます。抱きしめてくれた子もいます。どうもありがとう。

にこにこで過ごした時間は、僕にとってとても貴重なものになりました。思い出の全てを語り尽くせないほど、何物にもかえがたいほど充実した日々でした。子どもたちに感謝しています。素直な心、優しさをもつ子どもたちの笑顔に何度も力をもらいました。多くの学びのきっかけをもらいました。

これからは、子どもたちに胸を張れるよう「なりたい自分」に向かって、にこにこで過ごしたことを誇りに思い、頑張ります！



最後になりますが、送迎時や学校行事で会ったとき、気さくに話しかけてくださったり、励ましの言葉をかけてくださった保護者の皆様、心から子どもたちを愛するスタッフ、僕の考えを認めてくれ、自由に活動させてくれた職員さん、本当に感謝しています。そして、お酒を飲みながら一緒に涙を流してくれた施設長、壬生さん。いつも背中を押してくれてありがとうございました。

皆様、大変お世話になりました。どうもありがとうございました。また会える日まで！

西村綾介(にしむ)



非常勤職員紹介



新しく入った非常勤職員の紹介です♪今回は年度替わりということもあり、多くの新しいスタッフが入っています！これからどうぞよろしくお願いします(#`#)

横田智史(まっきー)

※まっきーはH27年4月までは非常勤職員として、5月以降は常勤職員としての勤務となります。



はじめまして、横田智史(まきたさとし)です以前は高齢者福祉施設で勤務しておりました、昨年4月に第一子が誕生したことをきっかけに新しいチャレンジをしたいと思い、2月よりここに勤務しております。悪戦苦闘しながらも児童たちの笑顔に励まされながら日々を過ごしております。児童たちが元気いっぱい遊んで、常に笑顔でいられるように頑張っていきます。今後ともよろしくお願い致します。

是永江里果(これちゃん)



是永江里果(これながえりか)です。ここにこの皆は元気いっぱいとても可愛らしいです。中高時代は合唱部だったので、音楽が大好きです。皆と一緒に色々な歌をうたったり、沢山の音楽を通してみんなと触れ合えたらいいなと思っています。宜しくお願いします！

西田吹雪(ふぶきちゃん)



初めまして。3月からお世話になっています、西田吹雪(にしだふぶき)です。現在、保育士の資格を取得するために勉強中です。ここにこでは、子供からたくさん学びながら楽しく活動していきたいと思っています。まだまだ不慣れな点が多いですが、子供の気持ちを大切に過ごしていきたいです。どうぞ宜しくお願い致します。

岩井仁美(ひとちゃん)



はじめまして！岩井仁美(いわいひとみ)です。幼児教育について学んでいる大学生です。にこにこの子ども達が可愛くてしょうがなく、毎回来にこにこに来て、子ども達に会えるのがとても楽しみです。また、にこにこでは、季節の行事や調理活動など、たくさんの楽しい行事や活動があります。その度に、子ども達の、真剣に取り組む姿や、積極的に取り組む姿など、新たな一面が見られ、毎回、新たな発見や、驚きがあります。これからも、そんな子ども達と遊びや活動を通して、一緒に遊び、喜びや悔しさなど共に共有しながら、子ども達と一緒に、私自身も成長していけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

国分未里(みさとちゃん)



はじめまして！国分未里(こくぶんみさと)です。小さい頃から子どもが大好きで、7つ下の弟のお世話をしていました。なので体力には自信があります！笑運動や音楽も大好きなので、みんなとたくさん遊びたいです！今は音楽大学で声楽を勉強しています。至らない点もあるかと思いますが、子どもたちと向き合い、日々学び、私自身も成長していきたいです。これからどうぞよろしくお願い致します。

吉武克真(かっちゃん)



新しくにこにこキッズルームに入った、大学2年生の吉武克真(よしただけかつま)です。子どもたちはみんなかわいらしくて、すごく元気をもらえます。まだまだ未熟ですが、みんなににこにこでの時間を楽しんでもらえるように頑張ります。よろしくお願いします。

見山優子(ゆうこちゃん)



Hello! はじめまして、見山優子(みやまゆうこ)です！4月から土曜日活動に参加することになりました。よろしくお願いします。日本で生まれ、5歳からアメリカに住んでいて、去年仕事で日本に住むことになりました。漢字と敬語が苦手なので、お世話になることがいっぱいあると思います！(涙)アメリカでは障害のある学生のヘルパーをしていました。日本にきて、にこにこで働けることになって本当にうれしいです！！これからもいっぱい楽しい思い出を作れたらいいなと思います。Let's have a lot of fun! Can't wait to meet all of you!

現在にここには小学校2年生から高校1年生まで、総勢42名のお友だちが通っております(^_^)

※児童在籍学校

神代中学校、染地小学校、第一小学校、調布中学校、調布特別支援学校、府中けやきの森学園、八雲台小学校
(2015年4月現在)

ご利用登録受け付けは随時行っております。見学や体験をご希望の方は、表紙のお問い合わせ先までどうぞご連絡ください。

ご協力ありがとうございました！！ (H26年11月1日～H27年4月30日まで)

【正会員入会の方(新規・継続)】

宇山 美穂さま、大畑 拓人さま、加藤 由加里さま、樺 ゆかりさま、河内 洋祐さま、近藤 裕子さま、里村 美和子さま、神宮 肇さま、関本 真実さま、外島 美保子さま、辻 秀樹さま、津田 博子さま、徳田 愛子さま、新倉 智香子さま、西澤 由実さま、平澤 由希子さま、平野 友子さま、堀尾 愛さま、間藤 こずえさま、水戸 和幸さま、水戸 愛さま、南 厚美さま、壬生 貴子さま、宮井 成彦さま、吉原 恵津子さま、渡邊 武史さま

☆ご支援ありがとうございました！☆

【賛助会員入会の方(新規・継続)】

有馬 祐子さま、磯部 直美さま、金森 香織さま、川村 和子さま、栗原 秀樹さま、齊藤 幸江さま、関本 真実さま、塚田 直美さま、辻 秀樹さま、新倉 智香子さま、西脇 博さま、平野 友子さま、牧原 達郎さま、松岡 有子さま、壬生 貴子さま、壬生 忠良さま

☆ご支援ありがとうございました！☆

【ご寄付】

相田 真理子さま(お菓子)、天野 有希子さま(衛生用品)、有井 友紀さま(お菓子・果物)、有馬 祐子さま(お菓子・玩具)、石野田 こずえさま(お菓子)、井出 美恵子さま(お菓子)、岩井 仁美さま(お菓子・果物)、宇山 美穂さま(お菓子)、尾上 小百合(果物)、小谷 真理子さま(食料品)、近藤 裕子さま(お菓子)、齊藤 幸江さま(お菓子)、里村 美和子さま(お菓子)、神宮 久美子さま(お菓子・葉書)、西澤 由実さま(衛生用品)、西田 吹雪さま(お菓子)、西村 綾介さま(お菓子・玩具・衣類)、丸山 明日香さま(お菓子・文具・傘)、水戸 愛さま(玩具)、壬生 貴子さま(お菓子・玩具・衛生用品)、宮井 裕子さま(お菓子・本・衣類・衛生用品)、八木 結香さま(お菓子)、株式会社ガイアさま(沢山のお菓子)、銀河ケアサービスさま(家具)、セカンドハーベスト・ジャパンさま(お菓子・飲み物・食材等)、訪問看護ステーションファインケア調布さま(衛生用品・IHクッキングヒーター)、匿名さま(お菓子、食料品等)

☆たくさんのご寄付ありがとうございました！☆

【ボランティアさん】

天野 有希子さま、上田 憲生さま、浮田 明日香さま、尾上 小百合さま、影中 光さま、川口 絢加さま、国分 末里さま、下根 理紗さま、玉原 聡子さま、田村 宙さま、西村 綾介さま、羽石 楓果さま、保科 真耶さま、鷲澤 翼さま、渡辺 ちひろさま、渡辺 文香さま

☆いつも活動を助けてくださりありがとうございます！☆

ホームページ&ブログもぜひぜひご覧ください♪

通信では載せきれない日々の活動の様子や子どもたちの様子を随時おしらせしております。

→ホームページ、ブログをリニューアルし、URLが変わりました！詳しくは本通信の3ページをお開きください！！(^_^)/

賛助会員大募集！

にここキッズルームでは、障がいのある児童の放課後を豊かにし、発達を促すと共に、地域の方に開かれた活動をするを目的としています。この趣旨にご賛同いただき、運営を支えていただける会員を募集しております。どうぞよろしくお願い致します。

☆賛助会員

一口 3,000円(年間) ※複数口、お申込みいただくことも可能です

みずほ銀行 調布支店 普通口座 1367700 NPO法人にこここの会 まで

♪会員の方には、「にここ通信」(不定期発行紙)をお届け致します。